

令和元年度第1回みえライフイノベーション総合特区推進本部会議議事概要

1 開催日時：令和元年8月6日（火）9:15～9:25

2 開催場所：プレゼンテーションルーム

3 議事概要：次のとおり

（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 みえライフイノベーション総合特区計画の取組状況について

●事務局【ライフイノベーション課長】（資料に基づき説明）

[平成30年度末時点の総合特区計画に掲げる数値目標の達成状況について]

- ・ 統合型医療情報データベースの活用に関する指標については、目標達成に至らなかったものの、それ以外の4項目については数値目標を達成しました。

[令和元年度の主な取組について]

- ・ 統合型医療情報データベースについては、事業主体である三重大学医学部附属病院を含む9医療機関において、平成30年度末時点で約42万3千人分の医療情報が収集され、現在、セキュリティー対策を含めた機能強化を進めているところです。また、県としては、三重大学と製薬企業等との共同研究締結に向けた取組を支援するため、企業訪問等を通じて周知を図る等、活用に向けた取組を進めています。
- ・ 県内7か所の研究開発支援拠点 MieLIP の主な取組については、資料のとおりです。
- ・ 総合特区支援利子補給金については、平成30年度、1件の支給決定がありました。引き続き活用促進のため、制度周知を図ります。
- ・ 規制緩和の提案については、現在、国へ提案している案件はありませんが、事業者等への支援の中で要望を聞きつつ進めることとしています。
- ・ 特区推進に向けた県の取組については、情報発信、企業訪問等、海外連携、医療・福祉機器等の製品化促進、認知症ケア製品等開発・普及加速化について、資料のとおり進めています。

[今後の行事予定について]

- ・ 11月に医療機器の製造販売業者とものづくり企業とのマッチングを目的に、一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会が都内で開催する「医療機器技術マッチングサイト交流セミナー」において、県内企業の出展支援等を行います。
- ・ 10月23～25日に幕張メッセで開催される大規模展示会「ヘルスケア・医療機器開発展」に三重県ブースを設置するとともに、医療機器メーカー等に対し製品やコア技術をPRするため、県内企業5社の出展支援等を行います。

[総合特区制度を活用したみえメディカルバレー構想の推進について]

- ・ みえメディカルバレー構想第4期実施計画が本年度で終了するため、令和2年度以降は“みえヘルスケアインダストリー5.0”と称する新たな取組を進めることが、平成31年3月開催の「みえメディカルバレー推進代表者会議」において了承されました。
- ・ 新たな取組については、概ね10年先を見据えた「目指すべき姿」と「基本方向」のみを提示し、各実施主体がそれぞれの計画等を策定し、情報共有しながら連携を取って進めていくこととしています。
- ・ 県としても、引き続き、総合特区制度の特例措置・支援措置等の周知・活用を図りつつ、みえメディカルバレー構想の推進に取り組むこととしています。

☆雇用経済部長

統合型医療情報データベースを活用した製薬企業等との共同研究契約の締結数について、昨年度実績は目標に対し0となっているが、具体的な達成目途はあるのか。

●事務局（ライフイノベーション課長）

本年度2件程度、締結可能性がある案件があります。その他にも、ライフイノベーション課を通じて提案する案件が1件あるほか、三重大学からも相談中の案件が1件あると聞いています。本年度の目標は達成できる見込みと考えています。

☆雇用経済部長

統合型医療情報データベースは、製薬企業以外の活用は考えているのか。

●事務局（ライフイノベーション課長）

大学内での活用を考えています。

☆雇用経済部長

学外はどうか。

●事務局（ライフイノベーション課長）

三重大学以外の者が活用するには、個人情報保護法に基づき制限されるため、いわゆるデータ売りはできず、大学の医師との共同研究の形をとります。なお、今のところ、共同研究以外でデータが欲しいという案件は聞いていません。

☆知事

- ・ 総合特区は、県内すべてのエリアが対象となっていることから、県内全域に取組が広がるよう、市町との連携を強化すること。また、部局間の枠を超えて、全庁が一丸となってヘルスケア産業の振興を進めるという意識で取り組むこと。
- ・ 医療情報データベースについては、三重大学医学部附属病院との連携を一層密にして、成果が上がるよう取組を進めること。データベースは、国や県が、それぞれ様々な財政的支援等を含めて労力をかけてきたものなので、作りきりになったり、大学側に任せきりにならないよう、しっかり成果が上がるような取組

を是非してほしい。

- ・ 来年度以降のみえメディカルバレー構想の推進方策の策定にあたっては、各主体の役割、連携方法をしっかり議論して、県が果たすべき役割を考えること。